

# 葦 森 の 風

## 学校の教育目標(こんな生徒を育てたい)



この4月より、新しく校長として赴任してまいりました藤原孝憲と申します。岡山市の教育目標である「人づくり」を地域や保護者の皆様とともに進めてまいりたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

さて、今年度、足守中学校では、『自然を愛し、自立をめざす、心豊かな生徒の育成』をめざして、様々な学校の教育活動を計画し、取り組んでいきたいと考えています。まず、そのために授業や行事を学び合いの場としていきます。そして、その中で、確かな学力を伸ばし、心豊かで思いやりの心を育て、地域を大切に、地域に貢献できるような生徒を育てていきたいと考えています。

いよいよ梅雨入りとなり、田んぼに稲がきれいに並んでいる光景が見られるようになりました。平成27年度もそれぞれの学年の宿泊の行事や体育会を無事終えることができている。皆様のご理解、ご協力やご支援、大変ありがとうございます。

## 各学年の研修行事

### 1年生 閑谷研修



### 2年生 広島研修



### 3年生 修学旅行(沖縄)



## Let's go Forward 体育会



5月24日(日)お天気が心配でしたが、青空も顔をのぞかせてくれる中、第53回の体育会を開催することができました。本番に至るまで、生徒たちは、生徒会作成のスローガンのもと、3学年全員が4つの縦割りのグループに分かれ、リーダーを中心に、選手決めから競技の練習、そして応援合戦の企画と練習にも取り組みました。また、応援旗もそれぞれの、グループの力作ばかりでした。長縄や3人3脚では、練習が始まったころは、息がそろわずまったく前に進みませんでしたが、リーダーを中心に3年生が相談し、並び方や練習方法を工夫しながら取り組む中で、少しずつ回数が増えたり、前に進んだりしていました。失敗を責め合うのではなく、どう工夫したらいいのか、どんな声掛けをしたらいいのかを話し合うことで、みんなが学び成長できた体育会となったのではないのでしょうか。

体育会当日もそれぞれのグループの仲間が力を合わせた躍動を見せてくれました。順位よりも、3年生のリーダーを中心に、それぞれが協力し合い何かを仕上げていったその過程がとても大切であり、これから生かせるものが体験できたのではと考えています。

## 地域ボランティア

先日、開催されたほたる祭りには、中学生も準備や展示等で、活躍していました。自分が育つ地域を知り、そのかわりを体験できることはとてもありがたいと感じました。



## 地域協働学校運営協議会

4月28日(火)19:00 本年度第1回の地域協働学校運営協議会を開催しました。地域協働学校運営協議会とは、コミュニティスクールとも呼ばれるもので、学校を地域に開き、地域とともに学校運営を行うためのものです。そのために、校長が学校経営の基本的な方向性や基盤になる組織などについて、協議会に提案し承認を受けるという法的に位置づけられた組織です。第1回の協議会で、今年度も昨年度から継続している「足守地区の幼小中一貫教育の推進」「一体型校舎での連携教育」「協同学習(学びの共同体)」などを基本方針として掲げ、承認していただきました。協議の過程では、委員さんそれぞれの立場から質問やご意見もいただき、検証していただきました。

※協議会委員

会長：後藤晴美	副会長：御船宗一郎				
委員：平田昌孝	光森哲也	元成勝巳	水田真吾	藤原孝憲	河内真理子



## 運営協議会会長 後藤晴美氏のご挨拶・提言

足守中学校運営協議会会長 後藤 晴美

本年も足守中学校地域協働学校の運営委員として、学校の教育活動、運営等に微力ながらお力添えできればと考えております。よろしくお願いいたします。東京のある中学校の生徒の狂歌を紹介します。生徒たちの素直な気持ちが表れており、思わず微笑んでしまう心温まるものです。ご参考どうぞ…

(父親に対する三句)

- 家庭とは、父厳しくて、母やさし、それでいいのだ、うちは違うが
- あの親父、大学出たの、ほんとな、どうも怪しい教養のなさ
- ただわめく、母に処置なし、駄目な父、かわいいそうだが自業自得さ

(母親に対する三句)

- 母さんは、よほど勉強にうらみあり、私に仇を討たせるみたい
- 女でもたまらなくなりセロテープ、ほしくなります、母の愚痴には
- あんな人選んでは駄目よ、あんたはね、体験にじむ母の口ぐせ

## 「雑草の逞しい生命力に感動」

いつのことだったか、テレビで「根性大根」というのが話題になったことがある。確かあれば、道路の端っこのアスファルトの僅かな隙間から、青々とした葉をつけた大根が、逞しく堂々と生えているのが報道されたものであった。私の日常の生活の周辺にも、それと同じような様子が見られる。例えば散歩していても何となく見ていると、ハット惹かれる光景が目につく。現在は、車も通らない小さな農道でもほとんどが舗装されている。そのコンクリートの僅かな隙間から、小さな草がなんとか伸び上がろうともがき苦しみながら成長している姿をよく目にする。

また、私の家の三階のテラスには鉢物をいくつか置いてある。そ

の鉢にいつの間にか、雑草の種がどこからともなく飛んできて、鉢の元の主より多くなり、鉢を我が家のごとく占領してしまうのである。いくら取り除いても、すぐまた同じことの繰り返しである。そこには、何とかして生命を広げ、子孫を残そうとする逞しさが見え、感動すら覚えるのである。その草を排除するのは、正直面倒ではあるが…

それと比べてみて、人はちょっとした障害や困難な事象に立ち止まったり、しり込みしたりすることがないだろうか。雑草の逞しい生命力を見習って、少々の困難辛苦などは、跳ね返し力強く前進していく力を身につけたいものである。